

# たがじょう

TAGAJO CITY

市議会だより

令和8年(2026年)

5月1日発行

No. 135



▲多賀城市立図書館の指定管理者の皆さん

令和8年度当初予算	2
令和8年第1回定例会結果	4
令和8年度予算に対する賛成・反対討論	6
一般質問	7
ピックアップ議論	12
あんなことこんなこと議論の足跡	13

# 令和8年度予算可決

## 令和8年度において重点的に取り組む事業の主な内容

### 1 防災情報管理事業 ..... 3,864万円

災害から市民の皆様の生命と財産を守り、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進するため、避難誘導標識、避難所案内図及び一時避難場所等標識を更新し、迅速に避難行動を促す体制を整えるもの。

### 2 健康診査事業 ..... 1億5,240万円

令和7年度から引き続き若年期から歯周病検診を実施するとともに、40歳未満の若年世代への健康診査及び胃がん検診での胃内視鏡検査の追加導入を実施するもの。

### 3 学校ICT整備事業 ..... 12億6,651万円

「GIGAスクール構想第2期」を推進するために学習用タブレット端末を更新し、教育情報基盤再構築を図るもの。

また、ICT支援員及び地域おこし協力隊を配置し、教職員及び子どもたちのICT活用能力の向上に取り組むもの。

### 4 市民文化創造推進事業 ..... 2,928万円

市民が主体となって次世代へ文化を紡ぐ「内発的な創造」を促進するため、多賀城固有の歴史文化資源に「ことば」や「映画」などのアートを掛け合わせた新たな価値を生み出す文化プログラムを継続し、若者の挑戦意欲向上につなげることを目的としたファッションアワードを実施するもの。

### 5 中央公園魅力創造事業 ..... 1億1,148万円

「公募設置管理制度（Park-PFI）」を活用して整備を行ったスケートパークを中心とした施設を、指定管理者である民間事業者のノウハウ等により管理運営及び維持管理を実施するもの。

### 6 公立保育所再編事業 ..... 856万円

志引保育所を八幡保育所へ統合し、新たに八幡保育所を基幹保育所へ位置づけ、基幹保育所としての機能を充実させるとともに、保育環境の改善等を図るため、八幡保育所大規模改修工事を実施するもの。

### 7 総合治水対策事業 ..... 300万円

内水ハザードマップに示した浸水区域内の建物所有者を対象に、浸水被害軽減のための支援として止水板の設置や室外機の基礎嵩上げ等に対して補助を実施するもの。

### 8 ゼロカーボンシティ推進事業 ..... 1,593万円

カーボンニュートラルの実現を目指して、省エネ家電の買換え支援、次世代自動車導入の支援及び宅配便の再配達削減を促進するために置き配ボックス等の支援を引き続き実施するとともに、窓断熱改修の支援を実施するもの。

### 9 創業支援事業(多賀城みらい塾) ..... 2,001万円

専門家等による創業に関する入門編的知識習得のためのセミナーや、創業に向けた実践的知識習得のためのスクールを開催するもの。さらに、創業支援補助金を交付するとともに、創業前から創業後まで、専門家等による切れ目ない適切な助言等が受けられる体制を引き続き構築するもの。

### 10 スポーツウェルネス施設整備事業 ..... 5,814万円

令和7年11月に策定した「多賀城市スポーツウェルネス施設整備基本構想」に基づき、たくさんの人たちに利用され、長く市民に愛される施設を目指し、関係機関との調整や市民等からの意見聴取をしっかりと行いながら、基本計画の策定など、施設の整備に向けた検討を進めていくもの。

# — 総額約490億円の

令和8年度当初予算の規模は、全会計の総額では、令和7年度当初予算と比較して0.8%の減。一般会計予算においては、約5千万円の増額となり、過去最大の規模となりました。

## 令和8年度各会計予算

一般会計予算増額の主な要因は、「GIGAスクール構想第2期」を推進するために教育情報基盤再構築及び学習用タブレット端末を更新すること、教職員及び児童生徒のICT活用能力の向上のためICT支援員及び地域おこし協力隊を配置することにより事業費が大幅に増となったことが挙げられます。

会計の種類		令和8年度予算額	伸率(%)
一般会計		305億600万円	0.2
特別会計	国民健康保険	55億8,300万円	△1.6
	後期高齢者医療	9億7,400万円	10.8
	介護保険	53億5,200万円	5.9
	小計	119億900万円	2.6
企業会計	水道事業	20億8,499万6千円	△5.1
	下水道事業	44億5,197万5千円	△12.6
	小計	65億3,697万1千円	△10.4
合計		489億5,197万1千円	△0.8

※伸率(%)は、令和7年度当初予算との比較です。

# 第1回定例会（2月3日～3月6日開催）結果

今定例会では、条例9件、工事4件、予算13件、その他4件の30件の議案審議を行いました。

## 市長が提出した議案

1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 令和8年6月30日をもって任期満了となる佐藤 修子委員及び内海 喜久子委員を再任し、新たに武山 兵記氏を推薦するため、議会の意見を求めるもの。
2	議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に準拠した職員の給与改定を踏まえ、議長、副議長及びその他議員の報酬額について改定するもの。
3	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に準拠した職員の給与改定を踏まえ、市長及び副市長の給料の額を改定するもの。
4	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に準拠した職員の給与改定を踏まえ、教育長の給料の額を改定するもの。
5	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に準拠した職員の給与改定を踏まえ、特別職の職員で非常勤のもの報酬額について改定するもの。
6	多賀城市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例について 経済状況の悪化等から事業再生を図る中小企業者等の一刻も早い再生に資するために、損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する適用対象を拡大するもの。
7	多賀城市道路占有料等条例等の一部を改正する条例について 道路法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、国道の道路占有料の額の改定が行われることから、所要の改正を行うもの。
8	多賀城市営住宅条例の一部を改正する条例について 市営住宅の共用部分及び共同施設の維持管理を市が実施できる仕組みを設けること及び市営大代住宅の用途廃止を受け、条例の一部を改正するもの。
9	市道路線の認定について 都市計画法に基づく開発行為により築造され、本市に帰属された道路6路線を市道として認定するもの。
10	工事請負変更契約の締結について（令和6年度多賀城市庁舎耐震対策等事業エントランス棟増築（建築）工事） 契約金額を増額する必要が生じたことから、工事変更契約を締結するもの。
11	工事請負変更契約の締結について（令和6年度多賀城市庁舎耐震対策等事業エントランス棟増築（電気設備）工事） 契約金額を減額する必要が生じたことから、工事請負変更契約を締結するもの。
12	工事請負変更契約の締結について（令和6年度多賀城市庁舎耐震対策等事業エントランス棟増築（機械設備）工事） 契約金額を増額する必要が生じたことから、工事請負変更契約を締結するもの。
13	多賀城市母子健康センター条例を廃止する条例について 市庁舎エントランス棟の完成に伴い、母子健康センターを庁舎内に移転するに当たり、廃止するもの。
14	工事請負変更契約の締結について（令和7年度山王小学校校舎長寿命化改良等（建築）工事（第3期）） 契約金額を増額する必要が生じたことから、工事請負変更契約を締結するもの。
15	多賀城市介護保険条例の一部を改正する条例について 令和7年度税制改正により所得額算定方法が変更となることを受け、条例の一部を改正するもの。
16	訴えの提起について（多賀城市営住宅新田住宅の明渡し等の請求） 家賃未払いとなっている元入居者に対し、住宅明渡しの訴えを提起するもの。
17	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度多賀城市一般会計補正予算（第6号）） 令和8年1月23日に衆議院が解散され、衆議院議員総選挙が執行されることになったため、議会の承認を求めるもの。
18	令和7年度多賀城市一般会計補正予算（第7号） 歳出は、定額減税不足額給付金給付事業の減額補正及び施設型給付費等支給事業の増額。歳入は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の減額補正及び施設型給付費等負担金の増額。
19	令和7年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 歳出は、高額療養費給付事業の増額。歳入は、高額療養費に係る普通交付金の増額。
20	令和7年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号） 歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額。歳入は、後期高齢者医療保険料の増額。

21	令和7年度多賀城市介護保険特別会計補正予算（第4号） 歳出は、介護保険システム管理事業の増額。歳入は、介護保険システム改修費補助金の増額。
22	令和7年度多賀城市水道事業会計補正予算（第3号） 収益的支出は、企業債利息の増額。収益的収入は、預金利息の増額。
23	令和7年度多賀城市下水道事業会計補正予算（第4号） 資本的支出は、配水管整備事業に係る工事費の増額。資本的収入は、配水管整備事業債の増額。
24	令和8年度多賀城市一般会計予算
25	令和8年度多賀城市国民健康保険特別会計予算
26	令和8年度多賀城市後期高齢者医療特別会計予算
27	令和8年度多賀城市介護保険特別会計予算
28	令和8年度多賀城市水道事業会計予算
29	令和8年度多賀城市下水道事業会計予算
30	令和7年度多賀城市一般会計補正予算（第8号） 歳出は、中央公園魅力創造事業及び生活交通ネットワーク維持事業の増額。歳入は、地域未来交付金地域未来推進型及び公園整備事業債の増額。

●委員会付託・審査結果

[2～12] …総務産業常任委員会（可決） [13・14] …文教厚生常任委員会（可決） [17～29] …予算特別委員会（承認、可決）

## 第1回定例会 表決一覧

各議員が出した結論は

案件の番号	自由民主党							日本共産党			公明党			未来	多	市	新	米澤まき子	審議結果	
	大内裕太	大場和晃	本間圭	千葉文昭	佐藤雅博	森長一郎	鈴木新津男	峪道子	伊藤真弓	中田定行	阿部正幸	齋藤裕子	根本朝栄	池田純	板橋恵一	昌浦泰巳	竹谷英昭			
議案1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		※	意見なし同意
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	原案可決		
3～16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
17	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認		
18～23	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
24～27	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
28～30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		

表示の説明 賛成は「○」 反対は「×」 欠席は「欠」

※ 米澤議長は公正中立の立場から表決に加わらず、無会派になります。

会派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団

公明党=公明党多賀城市議団 未来=多賀城の未来を照らす会 多=多賀城市民の会 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ

### ◎請願

なし

### ◎陳情

●農業委員会への女性農業委員の登用促進について

●東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

※各議員の討論全文をご覧になりたい方は、  
こちらのQRコードから。



## 賛成

自由民主党多賀城市議団  
佐藤 雅博

### 「現状と将来を考えた グッドバランス予算」

#### ■一般会計

- 限りある行財政資源を最大限に活用・発揮させ目下の行政課題解決に向け鋭意取り組む意思が示された適切な予算。
- 地域資源を開花させるべく文化・芸術・観光に力を結集し後世に継承していくための体制強化と事業強化に注力する予算。
- 長く続く物価高騰対策・多発する浸水災害対策・教育の未来を切り開く教育DX・ネクストギガ（児童・生徒・教職員の学習用タブレット端末の更新）への対応予算。

## 賛成

公明党多賀城市議団  
阿部 正幸

### 「不易流行の理念」のもと、 限りある行財政資源を最大 限の効果を発揮させる予算

#### ■一般会計

- 将来都市像として掲げた「日々のよろこび ぷくらむまち 史都 多賀城」を実現するため、全会計総額489億5,197万1千円の予算となった。
- 物価高騰の影響を受けている学校給食の食材費については、物価上昇額を補助する取り組みを評価し、更に、一般質問で要望したが、すべての市民へ現金5,500円支給と、みやぎポイント3,000円分付与の取り組みは、大いに評価する。
- 深谷市長が公約に掲げた「日本で一番暮らしやすいまちづくり」の実現を目指し、市長のリーダーシップを如何なく発揮され、まちづくりが、大きく前進することを期待し、賛成とする。

## 賛成

多賀城の未来を照らす会  
池田 純

### 「未来への道筋を 示す予算」

#### ■一般会計

- 市総合計画の後期計画初年度となるが、前期計画の5年間の成果を今後5年間につなげていくほか、課題を再定義し、次の5年間で解決していくための事業が各分野でバランスよく計上されている。
- 特に、昨年10月1日の大雨により市内に大きな被害を受けたことから、止水板の購入等に対する補助等の事業を新規実施することや、未来への投資として、小学校の給食費の無償化や40歳未満の健康診査等を新規実施することを評価。

## 反対

日本共産党多賀城市議団  
中田 定行

### 「市民の命と暮らしを 守る予算を求める」

#### ■一般会計

- 物価高騰対策のみやぎポイント支給は、スマホやマイナカードを持たない人は受け取ることができないため、不公正である。
- 小学校に限らず中学校給食無償化の実現を。
- 市営住宅の用途廃止の見直しを求める。
- 市長公用車の購入金額が市民感覚からすると高額であり、賛成できない。

#### ■特別会計

- 国保・後期高齢者医療・介護保険の保険料が引き上げられ、生活を圧迫している。制度改革と国費負担増を国に求めるべきである。

## 一般質問



**問1** 一般質問とは、どのようなものでしょうか。

**答1** 一般質問とは、議員が市の一般事務について、市長に直接質問し、考え方や今後の取り組みを尋ねる場です。多賀城市議会会議規則では、「議員は、市の一般事務について質問できること」「質問するときは、あらかじめ質問の要旨を文書で議長に通告すること」が定められています。

**問2** 一般質問では、どんなことを質問するのですか。

**答2** 選挙中の公約や市民から寄せられた声をもとに、各質問者が質問事項を決めます。質問内容は「〇〇道路の整備について」、「引きこもり支援について」等、福祉・教育、都市計画、環境問題、農業など多岐にわたります。議員は自分の問題意識や専門分野、市民の声などを踏まえて、質問内容を決めています。

**問3** 議場ではどのように一般質問が行われるのですか。

**答3** 質問者は登壇して、質問の要旨を述べます。その後、

市長や教育長が登場して答弁をします。回答を聞いた後、質問者は再質問ができます。再質問に対し、市長の指名により担当部局が答えることもあります。

**問4** 一般質問の順番は、どのように決まるのですか。

**答4** 本市では、議長あてに通告書を提出した後に、議事事務局でくじを引き、くじの番号が小さい順に議員が質問を行います。

**問5** 議会での質問時間の制限はありますか。

**答5** 本市の制限時間は、答弁を含め1人1時間です。短くなるのは構いませんが、制限時間を超えることはできません。

**問6** 傍聴は自由にできますか。

**答6** どなたでも自由に傍聴いただけます。議員の活動や市の取り組みをより身近に感じていただけたらと思います。市庁舎3階の議事事務局で手続きをしてから、5階の議場傍聴席にお進みください。



公明党

齋藤 裕子 議員

- ① 子どもの自殺防止
- ② 保育所におけるサブスク립ションサービスの導入
- ③ 木造住宅耐震改修補助拡大の取り組み

**問1** 子どもの心の健康の充実に取り組み、大切な命を守っていくための教育現場での自殺防止の取り組みを伺う。

**答1** 本市の学校現場では、状況に応じ、心の変化を丁寧に把握し、面談を通じて悩みや不安を早期に捉える体制を整えている。

**問2** 保護者が安心して預けられる環境整備と保育士の負担軽減に、本市保育所におけるおむつ等のサブスク립ションを導入する考えを伺う。

**答2** サブスク導入の効果、課ズ等を丁寧に伺うとともに保育現場との調整を図りながら検討していく。

**問3** ①宮城県が木造住宅の耐震改修補助の新耐震基準（昭和56年から平成12年まで）を

拡大した。本市の拡充の取り組みは、②耐震改修補助制度の利用促進に、申請者は耐震工事費用から補助金額分を差し引いた実費額のみを支払う「住宅耐震補助金代理受領制度」導入の考えは。

**答3** ①本市では、耐震診断及び耐震改修に係る費用の一部を助成する耐震改修促進事業を実施してきたが、県に合わせ、対象範囲を広げていきたい。②全国の自治体で実施している実績があり、現在実践事例を参考にしながら制度設計に着手している。耐震改修促進事業の拡大と共に令和8年度から取り組む予定としている。



▶宮城県の一部補助金のお知らせ

# 一般質問



自由民主党

大場 和晃 議員

① 消防団第5分団・第6分団ポンプ置き場の立地と津波浸水想定への対応について  
② 津波注意報・警報発表時における避難行動について

問1

① 消防団の機能を確実に維持するためには、より安全な場所への移転も選択肢として検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。② 移転するにあたり、何が課題か。

答1

① 津波浸水想定区域内にある第5分団及び第6分団を浸水区域外へ移転させることは必要であると認識しており、本市消防団が機能的に活動できるように体制を整備するためにも引き続き検討していく。② 第5分団は管轄区域の大半が、第6分団は管轄区域の半分以上が津波浸水想定区域となっていることから、両分団とも長期的に安定して消防団活動ができる土地が限られていることが課題である。

問2

徒歩避難を原則として周知しているにもかかわらず、実際には車避難が多く渋滞が発生している現状について、市はどの

ように認識しているのか。

答2

交通渋滞が発生することによって命を危険にさらすリスクをさらに高めてしまう要因になるものと承知している。渋滞緩和に向けた取り組みについては、本市だけでは対応しきれない部分もあるため、引き続き県や国などと連携しながら対応に努める。



▶ 第6分団ポンプ場（左）と第5分団ポンプ場（Google Mapから）



市民クラブ

昌浦 泰巳 議員

● 市長の施政方針から

問

市長の施政方針を聞いて、特に重点的に質問したいと思つた2点を取り上げる。特に配慮が必要な方の個別避難計画の策定は究極の被災防止策である。世の中で一番の弱者は子どもたちだ。子ども計画等策定事業は様々な子どもに関する計画を一本化する計画策定の事業であるため、質問した。① 市長は災害時、特に配慮が必要な方の個別避難計画の策定を早急に進めていくと述べられた。令和8年度は計画の策定はどこまでの進捗を想定されているか。② 子ども計画等策定事業について、令和8年度はどこまでの進捗を想定されているか。

答

① 市民への周知や避難支援者の理解促進、関係機関との連携を通じて、個別避難計画の実効性を高め、災害時に要支援

者の避難支援の可能性を高めることとができるよう、地域の皆さんと共に取り組んでいく。② 令和8年度は、アンケート調査結果を基に計画素案の取りまとめ、議員への説明、パブリックコメントの実施、子ども・子育て会議での諮問・答申を経て、令和8年度内に計画を策定・公表し、令和9年4月の施行を目標として準備を進めていく。



▶ 令和8年度施政方針



日本共産党  
伊藤 真弓 議員

- 1 学校給食の「無償化」について
- 2 多賀城市物価高騰対策について
- 3 市役所の開庁時間変更について

**問1** 令和8年度小学校給食に  
対し、国の一負担軽減交付  
金 が示され、保護者負担がない  
中学校の保護者負担をなくし、学  
校給食の「無償化」となるよう予  
算措置を求める。

**答1** 中学校給食費については、  
多額の財源が必要であり、国によ  
る制度的支援が不可欠と考える。  
令和9年度以降の取り扱いについ  
ては、国の制度動向を注視しなが  
ら検討していく。

**問2** スマホとマイナンバー  
カードを持たない人は、み  
やぎポイントを受け取れない。不  
公平をなくすために受け取れない  
人には、5,500円の現金支給  
に増額して3,000円を支給で  
きないか。

**答2** 物価高騰の影響を受けて  
いる市民に迅速に対応する  
ことに重点を置き、地域経済の活  
性化及びデジタル化の普及推進を  
目的の一つとしているため、みや

ぎポイント相当分の増額を支給す  
る考えはない。

**問3** 1月から市役所の開庁時  
間短縮の試験導入を行って  
いる。開庁時間変更により時間内  
に来庁できない人のため、電話や  
FAX、メールで事前に受付をし  
て対応できないか。

**答3** 適切かつ円滑な業務の実  
施を掲げており、開庁時間  
外を前提にした対応は考えていな  
い。



日本共産党  
中田 定行 議員

- 1 胃がん検診内視鏡検査について
- 2 文化センター内に点字誘導ブ  
ロック及び階段等に警告ブロッ  
クを敷設することについて

**問1** 令和8年度実施の胃がん  
内視鏡検査について。①対  
象年齢50歳以上、受診間隔を隔年  
とした理由は何か。受診翌年はパ  
リウム検査もできないのは何故か。  
②自己負担額を50〜69歳5,100  
円、70歳以上1,700円とした  
根拠はなぜか。

**答1** ①厚生労働省が科学的根  
拠に基づき定める「がん予  
防重点健康教育及びがん検診実施  
のための指針」で、対象者を50歳  
以上、受診間隔を2年に1回、胃  
内視鏡検査を受診した翌年は胃  
エックス線検査を受診できないと  
している。②本来は全額自己負担  
額となるが、多くの市民が継続的  
に受診できるようにするため、医  
療保険の区分や年齢等に応じた自  
己負担割合を勘案して定めた。

覚障害者が階段から転落し負傷し  
た。「点字誘導ブロック等を敷設  
して」との視覚障害者からの要望  
に、回答は「今後の改修工事の際  
に行う予定なのでしばらく待つ  
て」というもの。実際に事故が起  
きており、安全確保のために早急  
に対策をとるべきだと考えるがい  
かがか。

**答2** 点字誘導ブロックは、今  
後の改修工事実施時に敷設  
する予定。工事時期は調整中のた  
め、職員による案内体制を強化し、  
安心して利用いただけるよう努め  
る。

多賀城市からのお知らせ  
令和8年1月5日から  
開庁時間を変更しました  
適切かつ円滑な業務の実施や業務改善、業務効率化などの検討時間の確保のため、開庁時間を以下のとおり変更させていただきました。ご理解、ご協力をお願いします。

変更前	8:30~17:15
変更後	9:00~16:30

※電話受付時間も原則として同様です。  
対象施設：多賀城市役所本庁舎、上下水道部庁舎

▲市役所窓口を設置した開庁時間変更の  
お知らせ

**問2** 文化センター内に点字誘  
導ブロック等がないため視



# 一般質問



日本共産党  
峪 道子 議員

● 市民と現場の声にこたえる介護体制の充実を

**問1** 特別養護老人ホームの待機者が県内約1万3千人、市内でも100人超の実態を踏まえ、地域密着型サービスを市が主体的に整備されたい。また、建設費補助の拡充を国・県へ働きかけられたい。

**答1** 入所待機者等に対応するため、特別養護老人ホーム1カ所100床を公募しているが、応募はない。応募があった際に対応できるように、開設や整備に関する予算は、令和8年度も計上している。建設費補助の拡充は、全国市長会及び宮城県市長会において要望している。

**問2** 介護現場の早急な改善のため実態把握を強め、市独自支援を検討されたい。あわせて現場の声を要望や計画へ具体的に反映されたい。

**答3** 運営推進会議や介護保険各事業所に職員が出向き、実情等

を聞いている。今後も引き続き状況の把握に努める。支援及び人材確保は、市独自ではなく、国、県で取り組むべきものとして要望や提言を行っている。

**問3** 住み慣れた地域で暮らし続けたいという市民の願いに応え、待機者対策や在宅支援を盛り込んだ実効性ある計画とされたい。

**答3** 今後アンケート結果の分析を行うと共に、有識者や市民を含む関係者等の意見を反映し本市の実態に即した計画を策定する。



▶ 多賀城市高齢者福祉計画 第9期介護保険事業計画



多賀城市の未来を照らす会  
池田 純 議員

① 情報公開の在り方について  
② 学区再編について  
③ スポーツウェルネス施設について

**問1** 市民の知る権利の保障と情報公開の一層の推進を求めつつ、行政コストと受益者負担の観点から以下質問する。① 権利の濫用と解されるような著しく不適正な開示請求に対し、当該請求を却下できるよう多賀城市情報公開条例に規定を設けるべきでは。② 開示請求に対し、手数料を徴収すべきでは。

**答1** ① ② 他自治体の事例等を参考にして検討を進めていく。

**問2** ① 令和7年度の検討状況について。② 保護者への検討状況の説明について。③ 今後のスケジュールについて。

**答2** ① 令和7年度は検討会議を開催していない。東北学院大学工学部跡地の開発計画公表後に検討を進める。② 方向性や結論が未確定のため保護者への説明

は行っていない。③ 状況の変化に応じて適切に対応していく。

**問3** ① 「多賀城市スポーツウェルネス施設整備基本計画策定支援業務」の進め方について。② どのような観点でプール機能を合築か別棟にするか決定するのか。

**答3** ① 9月に基本計画を策定できるよう、関係団体や市民との意見交換や企業等とのサウンディングなどを行う。② 建設や維持管理のコスト面、体育館とプールの往來のしやすさなど利用者目線での利便性、プールを民設民営にするか等の観点で総合的に判断する。

「運動する日も、しない日も。」  
**SWing! Tagajo**

▲スポーツウェルネス施設基本理念 (メインコンセプト)



自由民主党

千葉 文昭 議員

● 行政及び教育分野におけるAI（人工知能）の活用について

**問1** 全国の自治体において業務の効率化や住民サービスの向上を目的としてAIの活用が進められているが、本市の自治体業務におけるAI活用の現状と将来の方向性について伺う。

**答1** 市民向けの取り組みとして、令和8年1月6日に運用を開始した「AIチャットボット」を利用することで知りたい情報の概要を把握し、詳細な情報を確認することができる。職員向けには、「コパイロットチャット」を導入し、文書作成や企画等で活用できるようにしている。今後は会議録等が作成できるような生成AIの導入を検討している。

るAI活用の現状と将来の方向性について伺う。

**答2** 市内各小中学校では、児童生徒の習熟度等に応じ、問題を提供してくれる「Aードリル」を試験的に導入している。教科書だけでは得られない多角的な視点に気づいたりする際に使用している。また、教職員は事務作業の効率化を目的に使用を始めている。今後は子どもたちがAIのメリット・デメリットを理解した上で、適切に使いこなせるように指導していく。



公明党

阿部 正幸 議員

① 南門等周辺整備について  
② 不登校・心のケア等の対策について  
③ 市民ホールの活用について

**問1** ①市道新田浮島線により分断されている南門と政庁南大路の連続性の確保および付近の電線の地中化について。②国宝多賀城碑の風化等に伴う保存について。③南門周辺にある大路両脇の側溝を渡るために設置してある擬木製側溝蓋の整備について。

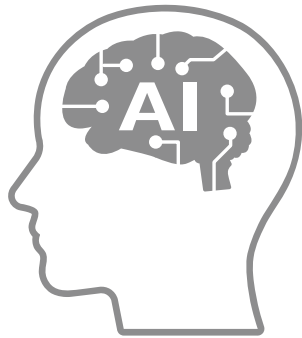
**答1** ①有識者や地域住民と意見交換を行い、連続性の確保実現に向けて取り組んでいる。電線の地中化は文化庁や宮城県と連携を図り、歴史的景観を損なうことのない史跡整備を進める。②石碑の破損等異常がないか、毎日確認を行っており、今後もモニタリングを継続する。③風合いや意匠を損うことなく降雨、降雪時に滑りを抑える手立てを検討している。

**問3** 6月に供用開始になる市民ホールで、障害者施設の就労支援に伴う物販の継続及びコンサートの開催及び市内小中学校等による展示や発表などができるように伺う。

**答3** 障害者施設の就労支援の物販や市内小中学校等の展示活動、各部署や関連団体等が行う展示やイベントなど、市が主体となる事業や取り組みのために活用していく。

て、保護者や児童生徒へ情報提供を行う。

**問2** 生徒の学びの個別最適化や教職員の業務の効率化を目的としてAIの活用が進められているが、本市の教育現場における



**問2** メタバース（仮想空間）を活用した取り組みについて。

**答2** 民間のメタバース活用事業などを選択肢の1つとして。



▲側溝を渡るために設置してある擬木製側溝蓋

# ピックアップ 議論

## 令和8年 第1回定例会 総務産業常任委員会質疑

### ●市長等の給料額及び議員等の報酬額の改定について

- ・市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例
- ・議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

<概要>

人事院勧告に準拠した職員の給与改定を踏まえ、市長等（市長、副市長、教育長）の給料額及び議員等（議長、副議長、委員長（議会運営委員会委員長、常任委員会委員長）、その他議員）の報酬額について令和8年4月から以下のとおり改定するもの

区分	改定後（月額）	改定前（月額）	増減額
市長	985,000円	964,000円	21,000円
副市長	797,000円	780,000円	17,000円
教育長	671,000円	657,000円	14,000円
議長	526,000円	513,000円	13,000円
副議長	451,000円	439,000円	12,000円
委員長	429,000円	418,000円	11,000円
議員	418,000円	407,000円	11,000円

**質** 3年連続の議員報酬の増額改定の状況を鑑みると、プラスマイナス1%という報酬額改定の基準を変更する必要がある。

**答** 本市では、市長等については国家公務員の指定職俸給表改定率、議員等については国家公務員の一般職俸給表改定率を加味し、その累積と地域手当相当分を加算した率がプラスマイナス1%以上になった場合、給料額等を改定する考えとして、給料額等を改定する考えとして、国家公務員の指定職俸給表改定率が一般職俸給表改定率より低いことが主な要因である。

**答** そのとおりである。

**質** 市内の各種団体、役職の方で構成する特別職報酬等審議会で、今回の報酬額改定について反対の意見がなかったことで議案提出されたということではないか。

**質** 市長等の給料額改定が約30年ぶり、議員等の報酬額改定は3年連続となるがその要因は。

**答** 要があるのではないかと。官民あげての急激な賃金の上昇により、この2年間の人事院勧告の改定率が高いが、長期的には毎年1%未満の改定率になると考えている。なお、現在の報酬額改定の基準は平成27年に議会に説明した上で設けていることから、議会全体として基準変更の意見が多数である場合には、ご教示いただきたい。

### 人口が本市と同規模の 県内自治体との報酬額比較

自治体名	人口（人） R7.4.1時点	月額報酬額（円） R8.4.1時点	
		市長	議員
名取市	79,705	975,000	406,000
登米市	71,370	911,000	398,000
多賀城市	61,422	985,000	418,000
栗原市	59,938	969,000	401,000
気仙沼市	55,716	932,000	364,000
富谷市	52,411	836,000	366,000
塩竈市	51,533	989,000	409,000

# あんなこと こんなこと 議論の足跡

市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、一つ一つ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第1回定例会では、常任委員会および予算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑応答が行われました。

**質** … 質疑 **答** … 回答

## 総務産業常任委員会

### 多賀城市営住宅条例の一部を改正する条例について

**質** これまで市営住宅入居者が組織する自治会で行っていた共用部分及び共同施設の維持管理に対して、市も実施することができるとする内容だが、自治会はどのような手続きを行う必要があるのか、また、その手続きに必要な様式は、規則で定めるのか。

**答** 入居者からの高齢化や家庭の事情等により自治会の担い手が見つからず、自治会での共同施設などの維持管理が困難になってきている住宅もあるとの声を受け、必要に応じて市もその維持管理に関わることができるようになるものである。自治会において入居者の要望をまとめてもらいながら、市の関わり方の整理を行っていくようになるため、特に様式の設定は考えていない。

**質** 状況を踏まえながら各段階で市と協議し、進めていくのか。

**答** その通りである。どこまで市が関わるのか話し合いをしながら進めていく。

**質** 市が共益費を徴収するメリットは。

**答** 入居者の徴収のための時間や手続きの負担が軽減される。

また、市が管理者として維持管理する部分と入居者が維持管理する分を並行できるように、住宅の維持管理の適切性が上がってくる面もある。

**質** 市が共益費を徴収するデメリットは。

**答** 共同施設の維持管理作業や共益費の集金作業がコミュニティ形成の面ではデメリットになるかもとの声もある。

**質** 市が関わることとなった場合は、宮城県住宅供給公社への委託となるが、その費用はどうか。

**答** 手数料として徴収する共益費に含まれる形となる。入居者とは、このことも踏まえ話し合いしていく。

**質** 自治会や入居者とのトラブルが生じたりしないように市が関わることに伴うメリット・デメリットをしっかりと提示しながら進めることが大事だと思いがどうか。

**答** 市側だけではなく入居者の目線に立つてお互いのメリット・デメリットを共有し、誤解のない形で運用できるようにしていきたい。



▲市営桜木住宅

## 文教厚生常任委員会

### 工事請負変更契約の締結について（山王小学校）

**質** 想定より躯体のひび割れが多く、増工とのことだが原因は。本校舎は昭和53年3月に建てられたもので、老朽化によるひび割れが多く確認された。

**質** 前回工事（校舎東側）の状況からある程度予測できなかったのか。

**答** 前回工事を参考に当初設計を計上していたが、工事に入り、足場を組んで間近で確認したところ、想定よりひび割れが多く確認された。また、内部においても黒板やロッカーなどを撤去して詳細調査を行ったところ、相当数の損傷が見られた。

**質** 今後、他の工事においても進捗に伴い、内容の変更が生じることがあるか。

**答** どうしても工事の設計段階で確認できないことはあるため、今後もこういった変更契約をお願いすることはあると思っている。



## 令和7年度補正予算

### 母子健康センター管理運営事業

**質** エントランス棟の移転に係る備品購入費の331万2千円減だが、当初予定していた備品購入はされたのか。

**答** 減額の理由は、当初予算では、参考見積りやカタログ価格による予算計上だったが、一般競争入札により額が確定したもので当初の予定通り備品等を購入した。

**質** 乳幼児に配慮して木育等を意識し、木のぬくもりを感じることで五感を育てていくことが大事だと思っているが、購入した備品はどのようなものか。

**答** 乳幼児が直接触れるようなものについては、森林環境譲与税を活用し、木材を使用した物品を購入している。主なものは、大きさと仕様が異なる様々な折りたたみテーブルとキッズチェア、踏み台用のベンチとままごと用のちゃぶ台、大工セット等のおもちゃ類である。

**質** エントランス棟に移転のことも家庭センターを多賀城市の妊産婦及び子供と保護者のウエルビーイングをサポートする拠点にしてほしいと思うが、いかがか。

**答** 温かい雰囲気の内装の色合いも柔らかい色に配慮した造りにしており、乳幼児や保護者に安心して来てもらえるようにしている。



▲木育おもちゃ

### ゼロカーボンシティ推進事業

**質** EV充電設備の設置状況は。

**答** 多賀城市役所西側駐車場、山王地区・大代地区公民館・さみらい多賀城イベントプラザの4箇所に設置した。

**質** 設置費用や取扱いに関する問い合わせ先は。

**答** 民間事業者が設置している。市としては設置場所のみ提供しており、費用は発生していない。また、運用面の問合せ先も民間事業者となっており、充電設備に問合せ先など記載されている。

**質** 令和7年12月に申請受付を終了した次世代自動車導入支援

補助金について、5,800万円の減額となるが、交付実績は。

**質** 広報方法は。

**答** 電気自動車9台、水素自動車0台である。

**質** 広報方法は。

**答** 広報誌やホームページ、SNS、デジタルサイネージなど市が有するツールを活用し、周知を行った。また、市内の自動車販売店に、チラシ配布等の案内を行った。



▲市役所西側駐車場EV充電設備

**答** 3月中に発注するが、照明器具が品薄であることから6月までに調達し、9月末までの完了を予定している。

**質** 工事期間中の歩行者導線の確保については。

**答** 工事事業者決定後の調整となるが、歩行者の安全に配慮した上で工事期間も通行可能としたい。



▲臨時の照明を設置している悠久ロマン回廊

### 障害者自動車等燃料費・福祉タクシー利用助成事業

**質** 利用が想定を上回り増額とのことだが、その要因は。

**答** 改正で利用制限を撤廃したとすることが挙げられる。改正内容としては一度の乗車で何枚でも券を利用できるようにし、使い勝手が良くなった。そして、窓口申請

に  
来る利用者に改正内容の説明をし  
続けてきたことで、利用枚数の増加  
に繋がっていると認識している。

**質** 利用者そのものも増えている  
のか。

**答** 利用者も若干増えてきている。

**質** 実際のどのくらい増えているか。

**答** 利用者がどれだけいるかは把握  
できないが、配布している  
枚数が増えてきていることから、利  
用者も増えてきていると認識してい  
る。

### 令和8年度予算

#### 市長公用車購入事業

**質** 現在の市長公用車はトヨタク  
ラウンをリースしているが、  
リース期間が令和9年2月で満了す  
ることから、車両購入費と保険料等  
で74.8万1千円が計上されている。  
新しい車種とその理由について。

**答** トヨタのアルファード（ミド  
ルモデル）のような大型ミニ  
バンを想定している。理由としては、  
早朝や夜間を含めた長距離出張時の  
身体的負担を軽減できるほか、広い  
車内空間でパソコン操作もしやすく  
なる。また、大人数での移動も効率  
的にできるからである。

**質** これまでリースだったが、購  
入とする理由は。

**答** 市長車はガレージで保管し、  
かつ、ドライバーが日常的に  
管理しており劣化を抑えられること  
から、長期的に見ればリース料を支  
払うより購入した方が500万円程  
度抑えられると試算をしている。

**質** 新しい公用車はどのくらい使  
用する予定か。

**答** 15年以上は使用したい。年間  
1万2千キロ程度の走行距離  
で、合計20万キロ近くの走行距離を  
想定している。

**質** シビックプライドの醸成にこ  
の取り組みは大事だと思つ。  
令和7年度は何件程度のことばが集  
まったか。

**答** 102件の応募があった。継  
続的に行っていく事でどん  
どん増やしていきたい。令和8年度も  
関係者が増えるような、関わりを  
持つてもらえるようにアプローチを  
していきたい。

**質** ファッションアワードの審査  
を市民参加型には出来ないか。  
たとえば多賀城市公式ライン  
を通じて投票が出来るか検討  
してみたい。

**答** 若者の育成と地域経済の活性  
化を図るため、企業協賛やス  
ポンサーを加え、継続的に開催する  
仕組みは考えているか。

**質** 協賛していただく仕組み、仕  
掛けは考えていきたい。出来  
る事を一つ一つ挑戦していく。

**質** 令和8年度のことばのアート  
プロジェクトの取り組みは。  
現在は多賀城駅、史都中央通  
り線、国府多賀城駅、南門周  
辺に掲出しているが、加えてさまざ  
まな店舗、公共施設等を調整してい  
る。より一層市内にことばが広がり、  
多くの方々が見て心温まることば文  
化が出来たらと考えている。

**質** シビックプライドの醸成にこ  
の取り組みは大事だと思つ。  
令和7年度は何件程度のことばが集  
まったか。

**答** 102件の応募があった。継  
続的に行っていく事でどん  
どん増やしていきたい。令和8年度も  
関係者が増えるような、関わりを  
持つてもらえるようにアプローチを  
していきたい。

**質** ファッションアワードの審査  
を市民参加型には出来ないか。  
たとえば多賀城市公式ライン  
を通じて投票が出来るか検討  
してみたい。

**答** 若者の育成と地域経済の活性  
化を図るため、企業協賛やス  
ポンサーを加え、継続的に開催する  
仕組みは考えているか。

**質** 協賛していただく仕組み、仕  
掛けは考えていきたい。出来  
る事を一つ一つ挑戦していく。

#### 市民文化創造推進事業

**質** 文化、芸術が多賀城市のまち  
づくりにも与える影響、意義に  
ついて伺う。

**答** 多賀城市のまちづくりは不易  
流行を基にしている。これま  
では文化財に新しい文化芸術を掛け  
合わせた事業を行政主導で行って来  
た。これからは、市民自らが創造的  
に取り組んでいく文化を育んでいけ  
ればと思つ。

**質** 令和7年度中学生に実施した  
実態把握アンケート調査の内  
容は。

**答** 全学年を対象に動画を活用  
し、ヤングケアラーについて  
の認識を深めた後、記名式によりタ  
ブレットにて実施。設問内容は、家  
族の世話や家事の内容、頻度や時間  
心理的負担、学業や生活への影響な  
ど23問である。

**質** アンケート調査の結果は。

**答** アンケート調査の結果は。

#### ヤングケアラー支援事業



▲多賀城駅前に掲出していることばの  
アートプロジェクト

**答** 対象者が、1,642人のうち、1,526人回答。約93%の回答率。ヤングケアラーの疑いが強い順にAから、B、C、D、その他にランク分けをして整理。AからDランクの合計は162人。対象者の9.8%だった。(内Aランクは56人对象者の3.4%)。

**質** 162名に対してはどのような対応をしたのか。

**答** 学校を通じて、一人一人に面談の勧奨をして、希望者19名に対し、1回以上の面談を実施。全員に県のヤングケアラーオンラインサロン等を紹介した。

**質** 面談の実施の状況と対応について。

**答** アンケート結果と合わせてアセスメントを行い、本人の意思を確認しながら相談先の情報やサービスを紹介。相談支援では本人の気持ちを尊重することを原則としており、面談を実施して本人に寄り添う支援となった。面談及び調査では確認できなかった中に該当者がいるかもしれないも考えている。

**質** 令和8年度はどのように展開していくのか。

**答** 市内小学校の5、6年生にアンケート調査と希望者への面談を実施する。ヤングケアラー支援という切り口から、複合的な課題を抱えた子どもに対し、学校以外にも

相談できるということを知らせていきたい。

## 健康診査事業

**質** 令和8年度から25歳から39歳までの若年者を健診の対象に追加したその背景目的は。

**答** 生活習慣病の若年化が進み、自分の健康を自分で見つめてもらうきっかけづくりとして、本市で令和6年度から実施している歯周病検診と併せて、若年向けに実施していきたい。

**質** 実施内容について。

**答** 職場等で受診機会がない方を対象に特定健診と同様の診断項目を集団健診で実施したい。自己負担額は2,500円としたい。

**質** 受診率の目標と周知方法について。

**答** 他自治体を参考に、25歳から39歳までの市民の5%を受診率の目標としたい。受診いただけるよう4月の市広報誌やLINE等のSNSで周知する。

## こども誰でも通園制度

**質** 国が示すこの制度の利用については月10時間まで、利用料は1時間300円であるが、本市の

基準は。

**答** 国の基準通り、利用時間は月10時間までとする。利用料については、国が示す標準単価である1時間当たり300円を基準に各事業者が決めるため、必ずしもこの金額ではない事業者もある。

**質** 非課税世帯、生活保護世帯に關しての利用料はどのようになるのか。

**答** 生活保護受給世帯は1時間当たり300円、非課税世帯等は1時間当たり200円の利用料軽減が受けられる。

**質** 令和8年度開始予定の事業者は、民間の6事業者とのことだが、公立保育所では実施しないのか。

**答** 公立保育所での実施については検討を進めていたが、予想よりも多くの民間事業者で実施することとなったため、今後の需要と供給のバランスを見ながら検討していきたい。

**質** 一時預かり事業との違いなど、利用者への制度の周知は。

**答** 一時預かり事業は、保護者支援を目的としてお子さんを預かる事業だが、こども誰でも通園制度は、集団生活での経験等を通じて、こどもの育ちを支援することを主旨としている。制度内容などについて、丁寧に周知していきたい。

**質** 堤防嵩上げ・河川拡幅・ポンプ場新設など流下能力対策ではなく、フラップゲート設置や浚渫を優先する理由は。

**答** 7,564万6千円の内容は、既設樋門の耐力度調査に基づくフラップゲートの詳細設計費用である。

## 原谷地川改修事業



▲保育士と幼児

**質** いずれは、大規模な流下能力対策を実施するということか。

**答** 令和元年の台風19号時の溢水原因が砂押川からのバックウォーターであったこと、短期的効果、費用対効果の面から優先する。大規模な流下能力対策は、総事業費数十億から数百億となる可能性があり、期間を要する。

**答**

フラップゲート設置と浚渫の効果を検証した上で判断する。

**質**

流域の約8割が利府町であり、利府町では大規模な宅地開発も予定されているが、今後の維持管理費用など流域自治体と協議が必要ではないか。

**答**

維持管理については、受益者負担が望ましいと考えている。現在も協議を行っており、お互いのまちの安全確保のために引き続き協議を進める。



▲原谷地川の既設樋門

**総合治水対策事業**

**質**

新規事業（仮称）多賀城市浸水被害軽減支援事業として、止水板設置や室外機の基礎高上げ等に対して補助金交付を行う経緯は。

**答**

昨今の想定を超える大雨発生状況を鑑み、河川・下水道事業を行っても溢水・氾濫の可能性は拭えないため、過去の浸水履歴を調

査し、局所で行える対策として本事業を展開する。

**質**

予算額300万円、想定が6件。補助交付要件はどうなっているか。

**答**

対象経費の上限額を100万円と設定し、2分の1を補助する。

**質**

安価な止水板もある。室外機の基礎高上げについても、必要部材は商品として安価で販売されているが、対象となるのか。

**答**

対象となる。件数は6件の計6件以上となると見込んでいます。なお、どの程度の対策が必要かは、立地等個別事情に応じて技術的助言を行わせていただくことも想定しています。

**質**

対象は。

**答**

ハザードマップで浸水区域内の建物所有者となり、借家人や企業は含まれない。

**公営住宅ストック総合改善事業**

**質**

4つの用途廃止住宅とはどこか。

**答**

既に用途廃止になった大代住宅、紅葉山住宅、浮島住宅の計4つである。

**質**

高崎住宅、紅葉山住宅、浮島住宅のそれぞれの建築経過年数はどの位か。

**答**

高崎住宅が44年、紅葉山住宅が38年、浮島住宅が36年である。

**質**

鉄筋コンクリート造りの耐用年数は70年である。メンテナンスを適切に行うことで100年以上持つ可能性がある。なぜ用途廃止するのか。

**答**

躯体は耐えられても、電気設備や給排水設備、屋根などの耐用年数は短いため、総合的に考えて維持管理しなければならぬ。また、この3つの住宅は、バリアフリー対策やエレベーター装置などに相当大きな投資が必要となる。社会の動向を見極め、建物を改修して維持管理するものと用途廃止するものに分けて適正に管理することとした。

**質**

市営住宅は市民の財産である。用途廃止ではなく、適正にメンテナンスをして存続させるべきでないか。

**答**

将来に渡り持続可能な市営住宅運営となるよう取り組んでいきたい。

**質**

高崎住宅の今後の予定について伺う。

**答**

令和7年度末に説明会、令和8年度に、個別相談会、住み替え先の内覧会、そして移転を希望

する方には移転支援等を行う。



▲市営高崎住宅

**学校ICT整備事業**

**質**

第2期GIGAスクール構想とは。

**答**

ネクストGIGAと呼ばれるおり、ファーストGIGAで整備した学校ICT環境の更新と活用の本格化を進める取り組みである。第1期で整備した端末が5年の耐用年数を迎えるため、1台当たり5.5万円を上限に費用の3分の2が補助される。また、活用が進むことで授業や一斉テストの実施に支障が出ないよう、ネットワークの構築や更新費用も国の補助のもと進めていくものである。

**質**

端末費用及び、ネットワーク整備に関する初年度の費用はいくらか。

**答**

児童生徒の学習用タブレット費約5億4千万円、教師用タ

# 議論の足跡

質…質疑  
答…回答

**質** プレット費約1億3千万円、ネットワークの更新などで約3億7千万円である。

**質** 今回の端末は何年間の利用を想定しているのか。

**答** 5年間の利用を想定している。

**質** 今回はリースではなく購入とすることが理由と財政的メリットは。

**答** 5年間の総額でみると購入の方が2億8千万円程抑えられる。予備機の購入にも15%を上限に補助の対象となることが、補助対象外経費（購入費用の3分の1）に対してもデジタル活用推進事業債という充当率90%のものが活用できる。リースの金利と比較しても安く抑えられる。

**質** 購入予定の端末の仕様は。

**答** 宮城県の共同調達部会で整理しており、詳細は固まっていない。

**質** 現在の機種はヒンジ部分で故障が多かったが、共同調達部会でそういった認識はあるのか。

**答** 認識している。本市でも要望を伝えており、各市町村からも丈夫なものという要望が出ている。

**質** ICT支援員として地域おこし協力隊を任用とあるが何名任用するのか。

**答** 令和8年度は小・中学校合わせて3名を任用予定である。

**質** 地域おこし協力隊の業務はどのようなものか。

**答** 既存のICT支援員と一緒に活動を行う。地域おこし協力隊は有資格者でない場合もあるので、既存のICT支援員と連携しながら活動してもらうことになる。

## 部活動地域教育プロジェクト事業

**質** 令和8年度の検討協議会の内容は。

**答** 受け皿となる地域活動の一覧（居場所一覧）に関する掲載内容をまとめることや、土日も継続して活動したいといった学校に対して、費用や施設の利用をどのように調整するかを検討していく予定である。

**質** 受け皿となる地域活動の団体とは。

**答** スポーツ団体、社会教育団体、芸術文化協会の団体、市民活動団体、サークル活動団体などにアンケートを実施しており、受け皿となっていただけける可能性について、聞き取りしている。本市の中学生が多様な選択ができる環境を整えていきたい。

**質** 令和8年度の取り組みとして、基本計画の策定と個別計画の

策定とあるが、計画には、様々な課題などが網羅されるといふことではないか。

**答** 「地域クラブと部活動の両方に属している場合の大会のエントリーについて」などの諸課題を検討協議会の中で議論し、掲載する。

**質** 調査段階での多賀城市民スポーツクラブとの連携状況は。

**答** 検討協議会の委員としても参加していたっており、スポーツ少年団やスポーツ協会の事務局も兼ねているため、研修会の開催やアンケートの実施などの協力をいただいている。

**質** 今後もアンケートなどで情報収集を行う予定はあるか。

**答** ホームページ上でリーフレットの情報を載せており、意見があつたら頂戴したい。また、学校を通じて子どもたちの意見を聞く機会も設けたいと考えている。



▲中総体の様子

## 特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画

**質** 保存活用計画策定は令和7年度末であったが遅れている要因は。

**答** 政庁南大路と南門の一体的整備に伴う影響軽減を図る協賛と古代米栽培の体験学習地区周辺を整備する協議に時間を要しているためである。

**質** 保存活用計画はいつ頃できるのか。

**答** 令和8年9月の予定である。

**質** 県が策定する特別史跡多賀城跡附寺跡整備基本計画はいつできるのか。

**答** 市の保存活用計画が出来上がれば、県において策定される。

**質** 保存活用計画での、保存、維持管理面の考え方は。

**答** 行政と地域が手をたずさえながら保存、維持管理を図って行きたい。史跡を確実に保存しながら観光資源に活用し観光人口の拡大に繋げることが重要である。また、年々整備する箇所や公有化面積が増加している。一般財源で賄っている状況であり安定した財源が必要である。

**質** 築地堀、政庁南大路と南門の一体的整備、館前遺跡、政庁



▲多賀城南門とオルレの様子

北端部整備の状況は、着手出来ない状況にある。事業を進めるには多額の費用、維持管理、住民生活との調和などさまざまな面で整理する必要がある。実施するには相応の時間を要する。

**質** 活用上の課題は、全国的にも整備、活用が進んでいる史跡である。見学者も増加しているが、この賑わいが一過性のものとならず継続していくよう県も含めた関係機関と連携を図り、地域資源として活用する手段及び施策の構築が重要と考えている。

オーラルフレイル予防

**質** 東京大学先端技術研究センターと連携して行うオーラルフレイル予防の取り組みとはどんなものか。

**答** VR機器を活用して、吹き矢の行動をすることで、口腔の健康を維持する事業である。

**質** VR機器とはどんなものか。

**答** 仮想空間上の映像を見るための大きなメガネのようなものである。

**質** 介護予防にどんな効果が期待できるのか。

**答** 話すこと、かむことの機能の維持や向上を図りたい。

**質** 講座は年間何回を予定しているのか。

**答** 令和8年度は3回くらいを予定している。今後、多賀モリ会やリハビリ協会も具体的な内容を決めていく。

**質** 事業費はいくらか。また内訳について伺う。

**答** およそ40万円である。VRの機器は研究センターのものを使用する。実施するための旅費や事務費になる。

**質** 今後何年間事業に取り組みのか。

**答** 2年間の予定である。

市議会に  
おける

活動状況のお知らせ

(令和8年1月～3月)

○1月

- 8日 広報特別委員会、多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- 13日 広報特別委員会
- 14日 全員協議会
- 15日 全員協議会
- 16日 広報特別委員会
- 20日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- 21日 議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会、広報特別委員会

○2月

- 3日～3月6日 第1回市議会定例会
- 6日 議会運営委員会
- 12日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- 17日 広報特別委員会
- 24日 広報特別委員会

○3月

- 3日 議会運営委員会
- 5日 広報特別委員会
- 9日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- 16日 全員協議会
- 19日 議会運営委員会、多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- 25日 広報特別委員会
- 31日 広報特別委員会

令和8年第2回定例会開催のお知らせ

次回の定例会は、  
**6月上旬から**  
開催の予定です。

- 正式な日程は、決まり次第、広報多賀城市ホームページでお知らせします。
- 定例会本会議、予算・決算特別委員会、常任委員会（定例会会期中の開催）は、You Tube でもご覧いただけます。
- 市議会会議録は、市ホームページでもご覧いただけます。

スマートフォンで  
議会中継をご覧  
になりたい方のア  
クセスはこちらから



# 今月の表紙

## 市内公共施設の指定管理者の皆さんをシリーズで紹介します。

初回となる今回は多賀城市立図書館の指定管理者であるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社です。

### ★主な業務内容

図書館窓口業務、資料収集、図書館分室（山王分室、大代分室）

学校図書館・移動図書館運営、図書館行事

### ★運営で大切にしていること

- 市の文化交流拠点の中核として多くの方に来ていただけるように、居心地がよく、いろいろな目的で利用できる空間を目指している。

### ★工夫している点

- スタッフが巡回の中で温度、照明、お客さんの様子等をきめ細かにチェックするほか、清掃も業者任せにせず、スタッフも担当することで、心地よい空間を維持している。
- 時間ごとに個々のスタッフがやるべき業務内容を細分化し、きめ細かな接客等につなげている。

### ★市民の皆さんへ

- 平成28年3月に開館してから、10年が経過し、約1,133万人に来館いただいた。利用者の皆さんの言葉がやりがいになっている。市民の皆さんのご期待に沿えるよう、今後も運営をしていきたい。



▲図書館10周年記念イベント



▲インタビューの様子



▲返却口の本を確認する様子

#### 〈施設基本データ〉

施設名：多賀城市立図書館 ※本館

開館時間：午前9時～午後9時30分（年中無休）

令和7年度来館者数：922,675人／スタッフ数：52名

令和7年度指定管理料：2億8,778万6千円

指定管理者の指定は議会で議決していることもあり、今回から指定管理者にフォーカスを当て、民間ならではの運営ノウハウや運営への想い等について、インタビューしていきます。3月で開館10周年を迎えた多賀城市立図書館。高いプロ意識をもった運営により、市内外から多くの利用者が来館し、多賀城の玄関口としてのブランド向上に大いに貢献いただいていることを再認識できました。

（レポーター 池田 純）

## 編集後記

2月3日からの第1回定例会は、32日間の会期となりました。

議員控室のテレビから流れる昼のニュースは、会期当初には衆議院の解散・総選挙、その後、ミフノ・コルティナオリンピックや大雪になり、後半にはアメリカ・イスラエルとイランをめぐる情勢でした。約1ヶ月の間に、日本や世界の状況が大きく変わってきました。会期中に広報特別委員会が開かれます。そこで、議会だよりの記事のレイアウトや内容、各担当について話し合います。割り当てが決まれば、議会のインターネット中継で質疑を聞いて、記事の作成をします。およそ2ヶ月間、何度も会議を重ねて完成させていきます。話し合いでものごとを解決する努力を人間は忘れてはならないと思います。それは、どんなに時代が変わり、科学技術が進んでも、人同士、国家間であっても同じではないでしょうか。議会を振り返り、あらためてそんなことを感じています。

（伊藤 真弓）

### 広報特別委員会

委員長	佐藤 雅博
副委員長	齋藤 裕子
委員	伊藤 真弓
委員	池田 純
委員	大内 裕太
委員	大場 和晃